

えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上松美 (☎01466-2-2525)

<http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h940000000pqh.html>

kyouiku/sg6h940000000pqh.html

笛舞小大運動会 地域一体となった学校支援 40人が運営参画

○6月8日(土)、晴天の中、児童はスローガン「元気、やる気、本気」を掲げて力の限り頑張りました。

○児童数18名、12世帯、当日はPTA、青年団体等が準備や後片付け、運営に当たり、またグラウンドには自治会テントが張られました。

○当日まで4回ほどの会合が開かれ、きめ細かく分担、運営などを話し合い、本番に臨んでいました。

○『えりもの子はえりもで育てる』にふさわしく、地域一体の取組となりました。

○競技では3つの自治会対抗の種目や職場対抗リレー、昼の部では児童と地域の皆さんによるヨサコイ・ソーランを披露するなど、一層、花を添える演舞となりました。

○各学校では、その地域の特色を生かして取組が行われましたが、今後も地域が一つとなる、また地域が学校を盛り上げる運動会を期待しています。

○開会式では、100メートルのスタート地点から、白組、紅組が一行になつて行進し、本部席前を通過しました。

○通過と同時に、アナウンスが流れ、一人一人の「運動会に向けて努力したこと」「当日で頑張りたいこと」が発表されました。

○この実践は、極小規模校の強みである「一人一人をどのように披露しようか」の実践として、すばらしい取組の一つです。



○12時40分からの全校児童と地域の方々による「ヨサコイ・ソーラン」は、トラック近くに主人公の児童、フィールドには保護者と地域の方々位置取り、踊りが始まりました。

○「地域の子は地域で育てる」姿で、地域学校として大きな輪がもたらされる機会でもありました。

○本部側正面では、地域を担う青年が太鼓を叩き、盛り上げていたことも印象的でした。



えりも小大運動会 地域力の支えによる発表の場 4年～6年生の鼓笛パレード

○6月15日（土）8時30分から開会式が始まりました。運動会の目的の一つ「規律ある集団行動」の実践場面で立派な様子が披露されました。

○運動会は、「保護者、地域の皆さんがどのようにかかわることが大切か」が問われます。開会式前には、教育環境の一つの「校地内禁煙」の呼びかけがアナウンスされました。観客の児童を見守る雰囲気グラウンド一杯に伝わり、学校行事のスタートとして素晴らしい環境が整えられました。

○写真は、伝統の4年生から6年生による鼓笛パレードです。練習は、地域の人の支援を得て進められ、当日はその成果を披露し、堂々としたバトンガールの技や鼓笛の美しい音色がグラウンド一杯に響いていました。



えりも岬小・保育所・自治会 合同大運動会 幼児も加わり自治会対抗リレー

○6月15日（土）8時30分に開始され、開会式は一人一人の立派な行進で始まりました。

○これまで、えりも岬小学校では幼児と地域の方々が共に運動会に参加しています。特に、プログラムは20種目ありますが、うち8種目は保育所、自治会競技が設定されています。また、自治会競技の年代別リレーには、幼児、小学生、中学生も加わり、地域の絆の深さを感じるなど、すばらしい取組となりました。

○また、全校と地域の方々との踊り「平和桜」が披露されるなど、温かな光景も見られました。

○写真は、種目「年代別リレー」のスタート前の光景です。反対側の幼児のバトンを受け取ろうと児童が待っている様子です。



庶野小合同運動会 保育所の幼児も加わり 伝統の幼小連携



Go!Go!!
Turn
and
Jumpの
様子です。

○6月15日（土）9時から始まりました。開始前には、早い時間から会場の環境整備に多くの保護者の皆さんが集まり会場づくりに当たりました。地域学校の大きな支援の証です。

○競技では、17種目が用意されましたが、保育所の幼児種目が4種目あり、幼児の50メートル走は、保護者の声援でまっすぐに走ることができました。

○PTAリレーでは、今年から教職員チームも加わり、子どもたち、地域の皆さんからも大きな声援が飛び交うなど、一層、運動会を盛り上げました。

○写真は、庶野保育所の園児のテントです。テントには7名の幼児の写真が飾られ、運動会に保育所も参加していることが伝わるなど工夫されていました。

